

施策番号	2205		
施策名	市民とともに推進する景観まちづくり		
概要	あらゆる主体が参加，協働し，主体性をもって，地域の特性に応じた景観づくりに取り組むため，地域での景観づくりで中心的な役割を担う人材育成をはじめ，多様なひとびとの地域への思いや絆を生かした景観づくりの取組を推進していく。		
担当局・部室	都市計画局・都市景観部	共管局・部室	
上位政策	22 景観		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市景観計画		

### 施策の評価

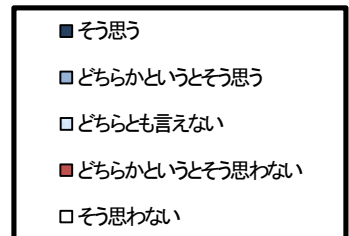
#### 1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					指標の ウェイト
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	
1 景観づくりに取り組む地域数(件)	-	-	-	-	-	-	-	
2 -	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	
<b>客観指標総合評価</b>							-	

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答					有効回答 者数	評価
	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない		
1 身近に誇りや愛着を持てる町並みや風景がある。	139 24.4%	236 41.5%	129 22.7%	40 7.0%	25 4.4%	569	b
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
<b>市民生活実感調査総合評価</b>							<b>b</b>



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

<b>B</b>	<b>施策の目的がかなり達成されている</b>					年度	-
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	-	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 地域の特性に応じた景観は、地域独自の景観に関する活動の中で徐々に形成されていくものであることから、客観指標を重視した。						年度	-
(原因分析) ・客観指標について、23年度からの取組であり、評価は次年度から行うため、今年度は市民生活実感評価を総合評価とする。 ・これまで、法や条例に基づき、建築物等の形態意匠に関する基準を定め、景観形成を誘導しており、市民の実感として一定の評価は得ているが、地域の景観形成のあり方は多様であり、それぞれの地域に応じたルールづくりが重要である。						年度	-

**今後の方向性の検討**

**<この施策を構成する事務事業>**

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	景観形成推進事業	28,009	42,222	-	都市計画局
2	進化する新景観政策推進事業	32,466	-	-	都市計画局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

**<今後の方向性>**

・平成22年度に、景観政策の進化の一つとして、地域の景観づくりに取り組む組織を「地域景観づくり協議会」として市長が認定する仕組みや、その活動対象区域において建築等を行う場合には当該協議会の意見を聴く仕組みを構築したことから、平成23年度以降、これらの制度を活用する地域の景観づくりを支援する取組を進めていく。

施策名	2205	市民とともに推進する景観まちづくり
-----	------	-------------------

指標名	景観づくりに取り組む地域数（件）
-----	------------------

担当課	景観政策課	連絡先	222-3397
-----	-------	-----	----------

**1 指標の説明**

地域の住民が主体となって、景観づくりに取り組んでいることが明らかな地域数

**2 指標の意味**

景観を観点としたまちづくりの拡がりを示す指標

**3 算出方法・出典等**

出典：事業担当課調べ

**4 数値**

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	-	-		(5)	都心4学区での元学区の半分と周辺地各2地区程度で約50件を10年間で取り組む。	-

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		50件	32年度		都心4学区での元学区の半分と周辺地各2地区程度で約50件を10年間で取り組む。

備考	「景観政策の進化」の実施に伴い、23年度に制度を創設したため、評価は次年度から行う。
----	--

**5 評価基準**

目標値に対する達成度が、  
a：100%以上（5件以上）  
b：80%（4件）  
c：60%（3件）  
d：40%（2件）  
e：20%以下（1件以下）

**6 基準説明**

目標件数を基準に、件数毎に5段階評価とした。

**7 評価結果**

		23
-	-	-